

飛翔

発行責任者
平塚MAC
池田 忠宏



囲碁を楽しむ会とパソコン勉強会

開催最多数の活動

平塚MACの会員相互の知識の向上と親睦を深めるための広報活動として、機関紙「飛翔」は毎月発行しています。行事やイベントの実施結果を会員全員に知らせて、平塚MACの楽しさをより深く理解してもらうことを目的に発行してきました。しかし毎月実施されている行事に対しては、あまり掲載してきませんでした。最近新しい会員も増えたこともあり、「囲碁を楽しむ会」と「パソコン勉強会」の担当者に会の内容を紹介していただきました。

囲碁を楽しむ会 懐に優しい0円の会



平塚中央公民館の一室で毎月、4週目迄の金曜日の午後12時半が開始時間です。三々五々集まり順次二人ずつ、強弱関係なく、会での成績を基にした各自の持ち点を比べ、手合い（ハンデ）を決めて「お願いします！」挨拶もそこそこに、対局開始です。

相手を替えながら三々四局（試合）打つと、後片付けをして5時の終了時間となります。

パソコン勉強会

10年目を迎えた 認知症に縁のない シニアの集まり

平塚MACの主要行事の学習会の一環として、平成

14年に第一回の「会員から学ぶ」が開催されました。

奈良時代には既に日本に定着し、武家社会では、碁盤を使って作戦を立てるなど、武士の大切な素養のひとつであったようです。

現在では、男女・年代を越えた交流手段として、又ボケ防止の為の脳トレとして、好まれております。

我が街、平塚は「囲碁の街」と言われています。充実した囲碁環境のもと、みんなで対局の楽しい時を共有し、年末には納会もあり、

20名弱の会員数ではありませんが、参加人数は年間延べ500名にも達する大所帯、部屋の確保に多少苦労しますが、懐に優しい会費0円の部会です。

囲碁を趣味に持つ方は、勿論、これから覚えたいと思う方も、平塚MAC「囲碁を楽しむ会」をお訪ねください。

そして学習会を担当されていた谷厚太郎さんにより杉山洋雄さんの入会を契機に「パソコン勉強会」が平成20年7月に産声をあげました。

杉山さんは地区公民館でパソコンを指導しておられ驚くべき知識の深さで丁寧な指導をされています。

平成21年から月1回の定期開催になり、22年からは月2回となりました。

和気あいあいの教室にみなさんノートパソコンを抱えて集まってきました。申込み不要、遅刻・早退も自由です。場所は市民活動センター会議室で、時間は14時から16時までで13時30分から30分は個人指導も可能です。

今年で10年目に入ります。なぜこんなに長く続いているか？、答えは唯一、私達は定年になったらパソコンは不用と思っていたのが、この会に入ってインターネット検索やメール等の情報交換にパソコンは必須な道具だと認識させられたことです。そして毎回様々な新しい知識が学べる喜びを味わっています。

当面のスケジュール

- 10月 2日 (月) パークゴルフの会
- 10月 3日 (火) MACうた仲間
- 10月 6日・13・20・27 (金) 囲碁を楽しむ会
- 10月12日・19日 (木) パソコン勉強会
- 10月18日 (水) 学習会 美術館見学
- 10月30日 (月) 天ヒルの会

でも、そんなに長くやっているとだからレベルが上がってしまったって？いえ、何度聞いても耳にタコのできないツワモノ・シニアの集まり、自分若葉マークは消えそうありません。

ここで自慢話をひとつ、今の生徒も卒業生も誰一人として、認知症には縁がないことです。みなさんこの会に参加して、脳を鍛え手先を使ってアクティブ・ライフを楽しみましょう。

次号の発行は
10月19日(木)です